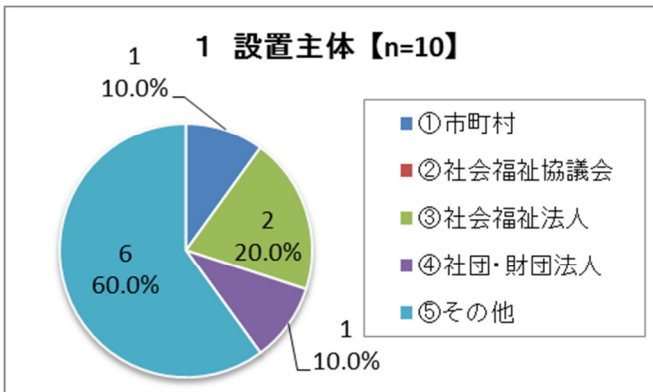


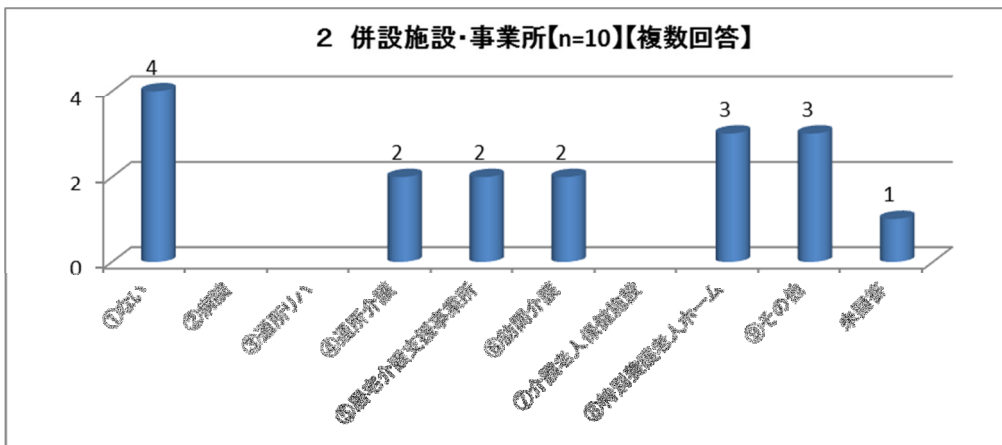
## (10) グループホーム (10カ所)

### 1 事業所の設置主体



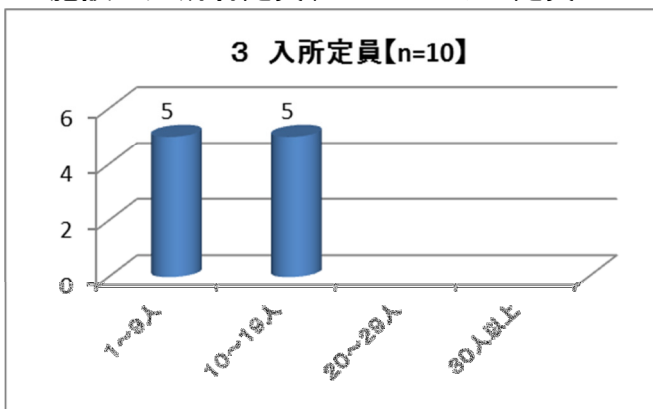
設置主体について「③社会福祉法人」が2件(20.0%)と最も多かった。「⑤その他」として、「有限会社」が4件(40.0%)であった。

### 2 併設施設・併設事業所

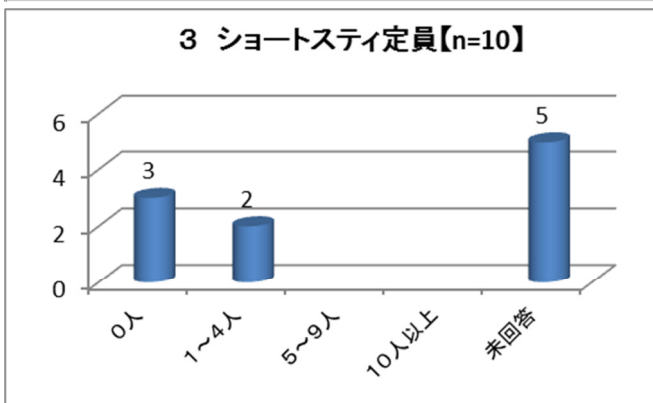


「①ない」が4件(40.0%)、「⑧特別養護老人ホーム」3件(30.0%)であった。

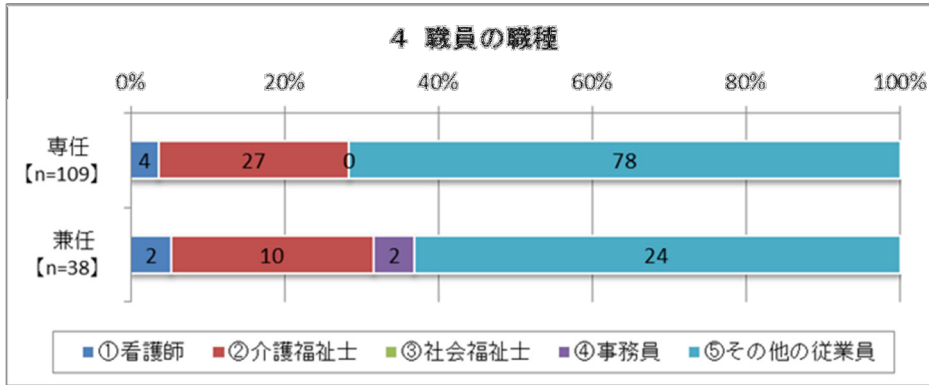
### 3 施設の入所者定員、ショートステイ定員



施設の入所定員は、「1~9人」「10~19人」がそれぞれ5件(50.0%)であった。ショートステイ定員は、「未回答」が5件(50.0%)、「0人」が3件(30.0%)であった。

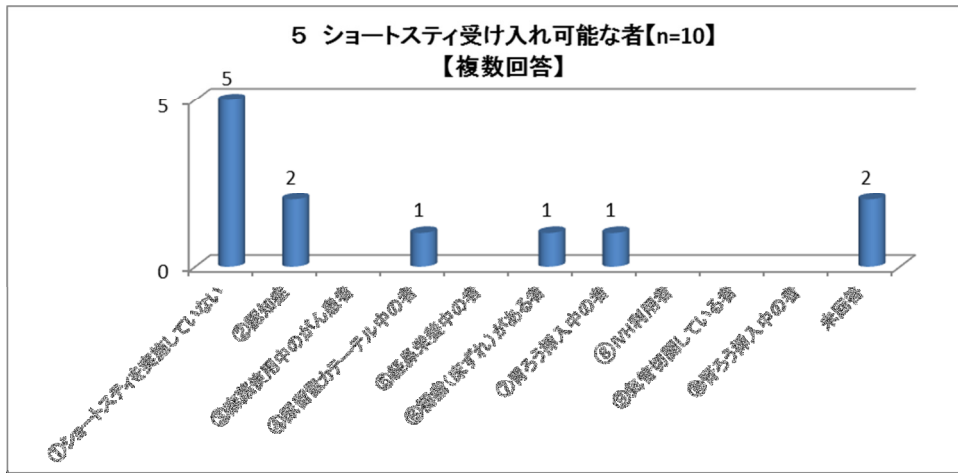


#### 4 職員の職種



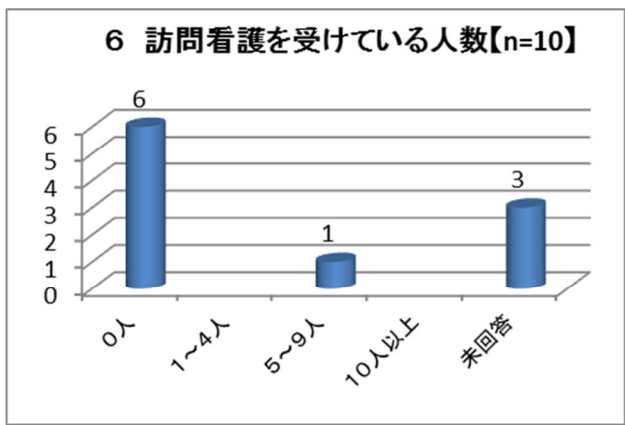
専任では「②介護福祉士」が27人(24.8%)、兼任では「②介護福祉士」10人(26.3%)が多かった。

#### 5 ショートステイ受け入れ可能な者



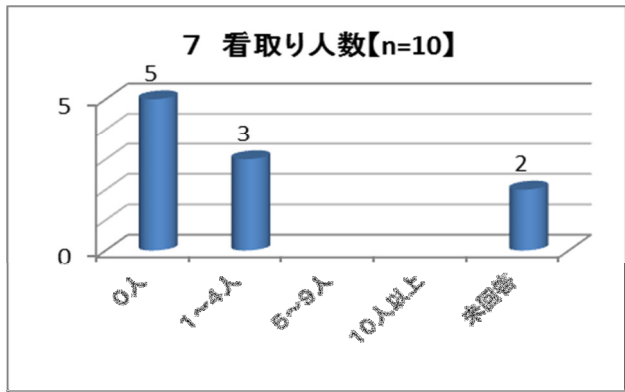
「①実施していない」が5カ所(50.0%)と最も多く、「③麻薬使用中のがん患者」「⑤経鼻栄養中の者」「⑧IVH利用者」「⑨気管切開している者」「⑩胃ろう挿入中の者」は受け入れ施設がなかった。

#### 6 施設で訪問看護を受けている入所者数(H24.4.1～H25.3.31)



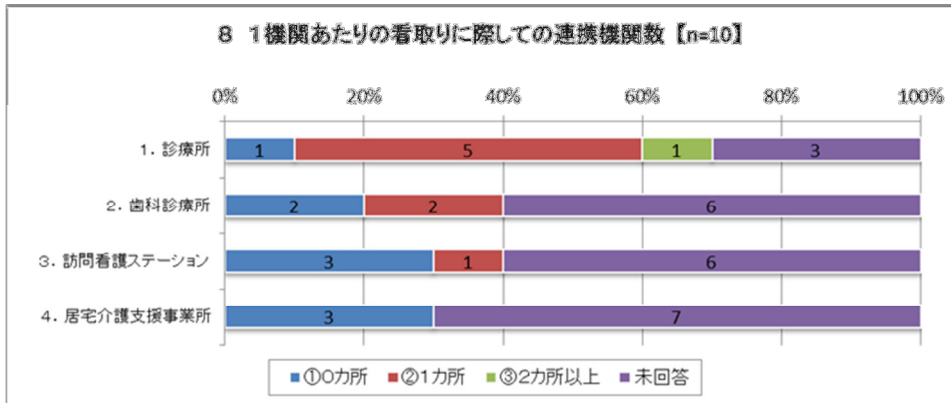
訪問看護を受けている入所者は、「0人」が6件(60.0%)であった。

#### 7 施設での看取り(H24.4.1～H25.3.31)



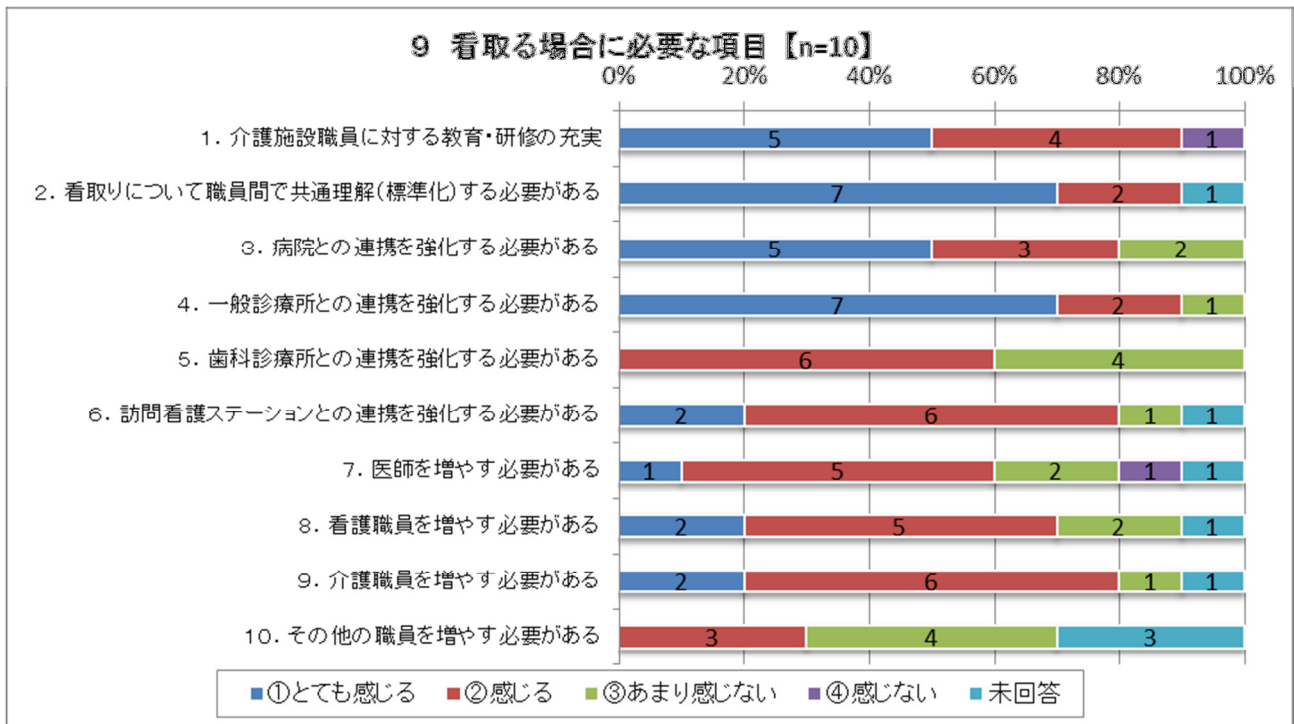
施設で看取りを実施しているのは3件(30.0%)であった。

## 8 看取りに際しての連携機関数



入所者の看取りに際しての連携機関数としては、「1.診療所」が「②1カ所」が5件(50%)と最も多かった。

## 9 入所者を看取る場合に必要な項目



「2.看取りについて職員間で共通理解(標準化)する必要がある」「4.一般診療所との連携を強化する必要がある」について、「①とても感じる」が7件(70.0%)と多かった。

## 10 在宅医療についてのご意見

グループホームで看取りまで行うをモットーに介護しています。最期まで看取るには住み慣れた場所で、延命治療せず、最期を迎えたいという家族や本人の希望を受け入れてくれる医師と出会えるかだと思います。

職員の数も特に夜間は増やして頂き、24時間対応の医師も増やして欲しいです。

家族と生活した自宅での看取りが自然だと思う